週刊 時事経済

発行所
平市南町71
株式会社
時事経済新聞社
主幹 田原登
電話 4775
毎週 土曜日発行
定価3カ月 百円
一部 五円

自家製
リール竿、ボラ竿揃えました。
平市新川町
西丸つり具店

石城産業文化祭 十一月廿六日から

石城市町村協議会主催の第十一回石城産業文化祭は十一月二十六日から二十九日までの四日間平市で開くことになった。これまで開催日は三日間であったが、今年は一日のばして四日間とし、予算は七十万円の予定、なお平市初めての県下農業委員大会は前日の二十五日に磐女高で開くことになった。石城産業文化祭は今年で十一回も開き例年非常な盛況で石城の産業の状況が一目瞭然となり、その進歩と発達振りが判ることは勿論で地域住民から非常に喜ばれているが、出品者も今年こそ知事賞を獲得しようと今から大いに研究張り切っている

中小企業の振興へ

各業者を巡回指導

平商工会議所で経営改善に全力

平商工会議所では中小企業の体質を改善しないと経営がなかなかむづかしい時代になって来たので、従来同所内で中小企業相談所を設けて相談に応じて来たが、今度知事の認定を受けた経営改善普及員草野四郎、花沢行雄、矢野浩一上野政守、の四氏で草野専務が所長となり密口相談から街頭に飛び出し市内三千六十二軒の経営者を巡回訪問し積極的に指導することになった。希望者は電話で依頼すればすぐ普及員がかけつけ指導するので業者にとっては便利になったワケで期待されている。相談する主なる要項は次の通り。

❶経営合理化の相談指導❷経営技術の改善❸商取引の相談斡旋❹金融と信用保証の斡旋相談❺経営に関する相談指導❻税務に関する相談指導❼労務と社会保障の相談指導と事務の代行❽工業所有権に関する相談❾商工関係法律の普及と相談❿経営と技術に関する情報と資料の収集提供⓫講習会の開催など商工関係のすべての相談と指導。

共同受注で活況

平鉄工協 運転資金を借入れ

平鉄工協組（理事長関口義久氏二十七軒）では四年後の東京オリンピック事業などに中央でぽつぽつ始めて来た関係もあってか、最近とみに注文殺到し活気を呈している。この夏は中川ヒーム等からの注文で夏枯れを一掃したが、現在共同受注を受けたものは建築用鉄骨などやく九百万円分あり、年末までの仕事は充分あり、この他各組合員それぞれの受注もこれまでになく多く、この分では年末までは従来にない多忙を極めるだろうと云っている。

こうした状況で歳末運転資金も急に必要となったので一千五百万円を銀行から借り受ける段取りもきまり同協組では明るい表情を示している

県開拓者大会

来月一日平市で開く

県開拓者第十五回大会は来る十一月一日午前十時から平市公会堂本館で開く。出席者一千五百名、石城の開拓農協から大会提出議案を目下検討中である。

立体橋特別委

平市才槌小路の立体橋建設特別委員は議長、副議長を入れた十一名の議長指名で左の通りきめた。箱崎利勝、坂本昌蔵、塩庄蔵、強口唯七郎、金古政通、鈴木良平、渡辺昇、町田亀治、金子松男、大泉信雄、志賀季三郎。

陸中海岸廻りの旅

平交通公社では来る十一月三日から六日まで観光の宝庫と云われる陸中海岸めぐりの旅を行う。募集人員は五十名で費理は一万五百八十円、三日午后一時十一分平発、花巻温泉泊り、四日釜石から宮古泊り五日山田、姉ケ崎、浮土力浜から宮古に戻り盛岡繋温泉泊り、六日帰平する。往復一等車である。

湯が出ること確実

三木杉博士ら調査結果

福大の三本杉巳代次博士と学生九人の地質学教室の人たちが平市の上荒川地内を去る四日から六日まで、続いて七日は石森山附近の第二次温泉調査をして八日に帰福した。

上荒川地内では電波探知器で科学的に調べた結果、待望の温泉の出ることが判明した。而してその調査結果の報告書は十一月末ごろ平市当局に送ってくることになった。

石森山附近の調査当日雨にたたられて調査が出来ず、追って調べることになった。

樋口平市助役の話では温泉のあることは、はっきりしたがボーリングを、地下どれだけ下げなければならないかが問題で、その点三本杉博士の調査報告書が来て見ないとはっきりしない。それによってボーリング代がどれだけかかるかが大体の見当がつくのである。七百メートル掘れば問題なく湯が出るようだとのことだが、それだけ掘らなくても出るかも知れない。

かくて年内中にボーリングできるまでに進んで来たが、湯が出たとなるとその後の経営を市独自でやるか、民間にまかせるか、その構想などまだできてはいないので多くの問題が残っているが、平市の温泉計画の前途はこの調査によって非常に明るくなって来た

理髪料を段階制に

論壇

平理髪業組合が突如として個々の理髪料金を値上げした。従来百円でやったり百五十円だったりして一定しなかったが、それが急に百六十円となったので百五十円のところは十円だけの値上げだから客は大した驚きはしないが、百円であった店が百六十円にしたところは六割の値上げであるからあまりにもひどすぎると不平満々である。

この不平組の主張するところでは理髪業組合には値上げの理由はあるだろうがそれにしても一ぺんに六割も高くされたのではかなわない。われわれには組合内部事情とかそんなことには何の関係もない。ただ無警告に六十円も高くされたのではやりきれない。理髪店は環境衛生の見地から半ば国家の保護を得てやっている商売でないか。われわれ利用者のことも考えて欲しい。またこうしたことについて取締ることができないかと云っている。

こう云う人々は月給一万円乃至一万五千円ぐらいの低所得者であるが、その不平はたしかに深刻である。なかにはバリカンを買って丸坊主にしようと云った人にも記者はめぐり合った。

これに対して宮川組合長は二十七年にきめた組合協定値を組合員が各自それぞれの立場から実施したものである。それはこれまでの値段では諸物価や人件費の値上がりで出血営業をして来たので、これではとてもやり切れないからと協定値をそれぞれの立場で実施したもので組合としては何らあずかり知らない問題である。と云っている。もしこれが組合として実施し協定値を破った者には制裁を加える等といった強制力をもってのぞむ場合はあるいは独禁法違反となるおそれがあるようだが、そうではないのであるからそれに問はれることはないようだ。

然し多くの利用者はどこの店でも値上げしているので組合としてやったのでないかと思っているし、一流どころの値上げは仕方ないとしても場末の三流店も同額ということにはその不合理をなげく人が多いようだ。

県ではいま原価計算をして審議会にかけて最低料金を決めることになっているそうだが、これもどう決るか判らないが最低料金以下なら違反になるが、高く取る場合はいくらとっても違反にならないと云う理髪店擁護の建前である。この値上げは単り平市ばかりでなく東京始め石城郡内も殆んどである。われわれの業者に望むことは所得の多い者と少ない者とが社会を形成しているので高い料金をとる所と安い料金でやってくれる所と幾つかの段階に分けてやって欲しいということである。そうでないと社会生活の実状とマッチしないからである。

岡見が岡

浅沼社会党委員長が十七才の少年に暗殺された。

まことに悲しいことで哀悼の意をささげる。近ごろ河上丈太郎氏、岸信介氏と相次いで暴漢に襲われ負傷している。▼政治家がこうもやられるのでは安心して政治家になれなくなる。まことに困ったことである。

戦前にもテロ行為は随分多かった。近ごろその風潮が再現したようである。▼日本人の一部にこうした野蛮な人のいることは困ったことである。あの国会の周辺の暴力デモなどは最もいけない。ああしたことが脳味噌のかたまらない若者などを刺戟するのである▼そこで穴だらけのいまの警職法を改正して取りしまりを厳重にするほかないのだが何でも反対の左翼の人たちが警察国家再現だなどと警職法改正に反対するからいけないのだ。▼もっとも警職法を厳重なものに改正しても生命が絶対安全というワワにはゆかないようだが、それでも現在よりは安全率は高くなることは請合、演説会などで現在の警職法では入場者の所持品検査も出来ないのである▼だから警職法を改正して入場者の身体検査を出来る様に改正してピストルや短刀を持った者から取りあげることにすれば大体安全である。

いまの警職法では野ばなしの虎を空手でつかめと云った様な法律だから無理なのだ。血の気の多い日本人にはそれにふさわしい法律が必要。

平の代表的土産品
平の生んだ世界的作曲家八橋検校の
作曲せる名曲「六段の曲」を記念する
銘菓 六段最中
六段本舗 平凡 平駅前
電 2509

冬…
プロパン・石油ストーブ各種
御一報次第すぐ御伺い致します
プロパンその他燃料
合資会社 大塚アンプル
平市堤の内28 電話 3,314

二十日遅れの文化と言わん
流行は東京より三週間ほど遅れるのでしょうか向うはブラウン（茶）全盛というのにこちらのカーデガンはまだ白やベージュが圧倒的
タムタムカーデガン 二千三百円～三千円
ラムアンサンブル（組） 二千八百円
テトロンシャツブラウス六五〇～七百円
三階衣料売場
純毛タータンチェックブラウス二千円
ラムウールカーデガン（特価） 五三〇円
カシミロンバルキー〃（特価） 八百円
募集 食堂ボーイ・コック見習各一名
（三階婦人セーター売場）
男女店員 各五名
平市 藤越

農業経営の転換期に備う
生産共営組を設立
宮城県の四農家が初の試み

農業経営の在り方が大きな転換期に直面している時、宮城県古川市の四農家が明日の健全営農への道を共同化に求めて十月一日から発足した。古川市高倉北引田内町の平山元祐、加藤秀平、千葉隆夫、中鉢正利さんの四氏いずれも三四十代の中堅層の人たち、農事研究についても負けず劣らずの篤農連で千葉さんは大崎耕土一の多収穫のレコードを上げたこともある。この人たちが現実の農業のカベを破りいよいよ労働生産性を目指す道標として組織したのが内町生産共営組合で去る九月二十六日に発会したもの。

このネライは共同経営化により完全就業、技術の専門化、資本整備の高度化で十一ヘクタールの三圃場水田の耕作をはじめ一切合財が共同で行われる。水稲以外の収入は別途会計がとられる仕組だ。給与はもちろん組合登録をしている加入世帯の常時作業員は月給制（正）作業員そのほかの臨時員は日給で支払う。規約や就業規則によると月二回の有給休暇を認めるほか、休日は祝日と毎月一、十一、二十一の三回、労働時間は朝六時から午後五時まで、生後一年未満の幼児の母親には休憩時間のほか、育児時間も与えられるなど新らしい新時代の理想農民像が浮き彫りされている。

組合員は四世帯だが、総括主任、耕作係、畜産係、それに農機具係の分業形態を布き、早速農機具係ではまず各戸所有の古い型の耕うん機四台を改廃し高性能のもの二台に切り換えた。畜産係のプランでは将来二千羽の養鶏を行う計画でことしはまず五百羽を目標にする。乳牛も三年後には十七頭に殖やすという。

そのほか奥さんたちも知恵をよせあって食事や衣料の生活面の合理化研究に乗り出すことになっており県でも初のこの試みにモデル組合として指導助成を行うことになっているという。

本県下では一部分共同経営、例えば養鶏、養豚のようなものを共同して経営するものがある田畑を初め全部の共同経営を実施しているものはない

魚菜市場の合併意味なし（下）
意見書を配布　国井一美氏

当面の需給対策と農業振興

地方中小都市における市場問題の推移は、右の通りなるが農業振興と直接関連を有する問題であり、また消費者の台所にも通ずる問題なるが故に之等の点にふれて見たい

昨今に於ける生産及消費の情況は、左の通りにて、先ず消費面にありては食糧事情の安定に伴う生活様式の変化、水産及畜産品の加工技術の進歩による出廻りの増加等、また生産面に於ては、生産必要資材充実と技術の向上に依る反収の増加及養畜からの転換による作付反別の増大等が需給のアンバランスを転倒せしむる結果を来した。

これが需給の現状であり、生産面に於ては採算割れをも憂慮する状況に向いつつあるが、さりとて農業生産にありては他の産業に見らるるが如き操短カルテル的方策は実施不可能であり、対策としては消費生活の改善による消費種目の変化等も作付の上に充分考慮、むしろ更に生産性を昂揚し、努めてコストを引下げ消費の増大を図り、半面市場流通の青果物の生産から工業原料農産物への生産へも移行することも今後考慮の要ありと思う。

大消費地を目指しての輸送園芸も結構なるが、現状は何処の生産地も同様にて、殊に近郊園芸は多種目栽培にて特定品の大量生産に非ざるため連続出荷出来ざる処にも悩みがあり、出荷体制確立の進まないのもそのためであるが適切なる指導こそ必要であり、之等が今後に於ける農業生産指導面の大なる課題であろう

以上の如き合理化により市場流通商品が減ずるのではないかと云う向きもないではないが、農業生産は資本漁業とは異なるが故に、私は心配なしと見て居り生産の調整と合理化こそ価格形成上好結果をもたらすものと確信するが故に採る可き策と思う。

現在における市場問題の論議は前述の如く生産消費のバランスを失い価格の低落を来す所謂営農上の不安に端を発し居るものにて、一般食糧事情が安定すればする程、生鮮品という特殊性ある青果物には一面に於ては消費の伸びる物もあるが全体から眺めた場合自から限界もあり通流過程における一局所である市場の操作のみにては、価格の安定は期し得ない。

依って農業振興の見地より仮りに一都市一市場を理想とするならば先ず以って立法化を急げ、生産及消費の実態を把握し生産の合理化及出荷体制を確立等、総合的計画のもとに立案実行に移すべきである。

然らざる限り市場を合併した処で形式を変えるに過ぎず返って過剰農産物の需給を混乱せしむる丈けである。

尚市場を合併する場合は市場を合併しただけでは、本当に円かつなる流通秩序は保てず保つためには個人業者の措置及小売業の整備等の問題も附随するものにて、ここに立法化の必要があり、立法化せざる限り個人の意志を拘束することは出来ず、これ等を無視して公取委の問題となりたる例なしとはしないのである。

以上の如く古家を改造するが如き簡単なものでないが、前記の如き条件が具備した上に立ってならば業者も協力は惜しまないであろう。

故に市場合併の前提として集中市場制（複数）として出発、その過程において合併もせしむるよう鮮魚市場も含めて五〇〇〇坪の敷地を要望しているのは、そのためであり真の農業振興需給調整は思いつきや場当り策には出来得ない業者としても現状をもって絶対とは考えている訳ではなく、農業の振興、消費生活の安定につながる大きな問題であり、あらゆる角度から検討の上悔なき理想の機構確立を念願して止まざる次第である。

サンマ意外に不漁
磐城の七隻帰港

意外なサンマ漁の不漁つづきで磐城市小名浜港から北海道東海区に出漁していた小型漁船九隻のうち同市栄町馬上庄治さん所有の瑞宝丸（一五トン）の七隻はサンマ漁に見切りをつけぞくぞく小名浜に帰港、底引き漁の転換準備を進めている。サンマ漁に残った同市下町、田中房次郎さん所有の福恵丸（一五トン）同市元分、比佐一郎さん所有の洋栄丸（一四トン）の二隻も近く帰港する予定だという。本県小型漁船の道東海区サンマ漁遠征は昨年についで二年目だが、ことしは予想外にふるわず一隻当りの平均かせぎ高は百万円見当だから逆に約百万円の赤字をかかえ込む結果になったと船主達はいっている。

操業期間が長引くにつれ赤字がかさむため十二月までの漁期を待たず三カ月も早く漁を切り上げたもの。サンマ漁の赤字を底引き漁でとりかえそうと出漁準備を急いでいる。

四倉、大野農協を合併

四倉町大野農業協同組合（理事長鈴木文夫氏）と四倉農業協同組合（理事長佐藤卓司氏）は合併することに話が決まった。四倉町はさきに四倉農業協同組合のかん詰工場を一千余万円で買収したが、さらに将来の経営の万全を期すため大浦、大野の三つの農業協同組合の合併を関係者に呼びかけてきた。大野農協ではさる七日理事会を開き、県農協課の三浦技師を中心に、大浦農協（理事長小林豊広氏）は差し当たり合併を望んでいないので、取り敢えず大野、四倉の両組合が合併することになったもの。

ヘルスセンターは身売りせず

内郷市営ヘルスセンターを身売りするという噂さが専ら東京方面に伝えられているが、これに関し沼田内郷市長は「そんな噂がどこから出たものか甚だ迷惑である。絶対に売らないし、民間者に経営をまかせる様なこともしない」と語っている。

踏切り存置運動
才槌小路で事務所を設く

平市才槌小路商店街では才槌小路の立体橋が来年度一億五千万円でかけられることになり、踏切りが廃止されるのでこれでは客足がなくなり死活問題だと踏切廃止反対期成同盟（会長佐藤福太郎氏）を結成、市及び県等に陳情したが今回色川光以氏宅に事務所を設け本格的に踏切り存置の猛運動を起すことになり、要所要所に反対の看板をかかげた

長谷川常吉氏
黄綬褒章

平市才槌小路、堀江工業株式会社社長長谷川常吉氏（五七）は十七日総理大臣官邸で黄綬褒章を贈られることになった。同氏は多年建設業に精励技術と経営の向上につとめる一方、関係団体の役員として地方業界の発展に寄与した功績によるもの。

勝倉係長に自治大臣賞

平市税務課固定資産税係長勝倉文雄氏（四〇）は来る二十日首相官邸で自治大臣賞を授与される。同氏は宅地の路線価式評価方法を東北地方で最初の三十一年度から実施して旧来の賃貸価格制度を改め適正価格の合理化につとめたほか、事務の合理化にいろいろな功績が認められたもの。

灰皿

日本軽金属の草野社長は小川町にポンと二百万円を寄附した。最近公共に寄附した大口は平市の野球場に金屋と阿部政右衛門氏が各百万円がトップであったが、草野社長の二百万円はその倍で断然トップを切った。この二百万円が基礎になって小川町では二百五十万円で福岡部落の簡易水道を新設に着手、翁組で目下工事中だが、この部落三十戸は井戸がなく加路川の水を飲んできた。キレイな水だが雨が降るとにごるので草野社長もこの部落で育っただけに水のことでは痛切に感じていたらしい。そのため部落民の要望を入れて寄附してくれたのだが、部落民からは非常に感謝されている。

流絶景　奥飯坂穴原温泉　穴原ホテル　電一七七番

南伊豆海岸　稲取温泉　白雲閣　電稲取三三〇

平市五十目　大谷石　井上　電二〇六六

建築　土木　株式会社　翁組　所長　平出張所　吉田満　平市田町一ノ四　電話二、〇五六

貸家　店舗又は事務所向き　二階建のべ三八坪、間口七間半居室六畳三間、四畳半三間、タイル風呂ガス水道付　姓名在社

文化洋服ダンス　東京ロッカー　東京ロッカー工業株式会社製　すばらしい・近代的・組立式ロッカー　ハードボードと軽合金を利用した堅牢なロッカー　外務員募集中　福島県総代理店　早坂商店　平市旧城跡1　電5,649

御注文服なら信用のある　永島洋服店　平市大工町　電4670　ヒロクナレ

精神衛生無料相談　財団法人　石城精神医学研究所　平市才槌小路電四三一七・四三一八

精神科　神経科　内科　新田目病院　院長　新田目五郎　本院　平市才槌小路電四三一七・四三一八　分院　平市上荒川安草　電四三一九

甘を郎焼　真根井菓子店　平市銀座通り　電四〇二五

平市で観光白書の一部発表

全く少ない観光客

温泉事業などの施設が必要

観光問題が大きく台頭して来た今日、平市商工観光課では今年中に観光事業の基礎調査を終り観光白書を発表するがその基礎調査の一部である旅館の実態調査を終ったので中間発表した。これによると三十四年度の旅館組合五十軒のうち四十二軒について宿泊人名簿から調べたが、宿泊者は八万八千九百十八人、名簿記入もれ二〇%と推定して計十一万人、このうち観光客と見られるものはわずかに一・五%に過ぎず、商用社用が六十七%で圧倒的、私用一〇・五%、公務八・二%、会議五・一%その他五%で観光は殆んど問題にならない現況であることが判った。

よって観光客誘致には新たな構想のもとに出発しなければならぬ問題を提供しているが温泉の開発など大きくとりあげたり、その他の施設の整備など必要となっている。宿泊者を地方別に見ると東京が最も多く四四・五%、中通り十三%、仙台方面九%、大阪八・九%名古屋七・一%、関東五・一%で旅館業者はわずかに経営を維持している程度である。しかし豊間灯台、沼の内弁財天などには夏期にはやく八万の客が押し掛けているなかには北海道、九州からの人もあるがその殆んどが平市に泊らず日帰りか湯本温泉に宿泊している。

つり大会

平釣友会（会長鈴木一男氏）では来る十一月六日相馬郡松川浦で釣大会を開く。会員二十余名参加の予定である。

小川町簡易水道起工式

石城郡小川町営の福岡部落へ給水する簡易水道（工費二百五十万円）起工式は十二日十一時三十分から現場で挙行した。神官のお祓い、玉串奉てんのち若松町長、請負者翁組田久孝翁社長のクワ入れ式の後、挨拶があった。

週間ニュース

◇七日夕から八日未明石城地方に豪雨あり、四倉、内郷、勿来などの水田に冠水、内郷市では床下浸水十七戸、常磐線の列車九本が一時間四十分も遅れるなどその他の被害を出した。

◇号外、号外と夜間大きな声をはり上げ鈴鳴らして二七号外を売り歩いた東京の岡田義次郎と室井良三という二人が六日夜平署に捕まった、山形仙台、福島、若松、浜通りで一枚十円で売り十一万五千円を詐取した。

◇ローマオリンピックで活躍した重量挙げの古山征男選手が八日郷里の湯本に帰った。お父さんの可光さんは勿論地元の人たち大喜びで大歓迎、花火をあげるさわぎだった。

◇内郷市ではヘルスセンターの北側につり堀三面を三百万円を投じて完成した。たて八メートル、横十五メートルの立派なもので、コイ五千尾を入れ近く一日二百円で太公望たちに開放する。

◇県労働衛生大会は去る八日磐城市民会館でやく八百人が出席して開かれた。日本水素などに労働大臣賞、新日本化学などに県労基局長賞などが贈られ、久保田重孝医博の「欧米の職業病」の講演や常磐交通の娘じゃんがら念仏踊りの披露などがあった。

◇平市の上水道の水を使う家は七千百軒もあるが、水道料を払わない者が七%もあるので集金人三人を六人にふやし十一月から完全徴収をやることになった。払わない不届者には断水処分をする。

◇縦書は古いとばかり平市では公文書の横書きを正月から実施する。県下十四市にさきがけるワケだが、余っている縦書用紙を無駄にもできない関係もあって一斉実施とまでは行かないらしいが、十二月の市会にかけて実施する。

◇平市銀座通りのレストランサロンの経営者森川忠吉氏（四三）は西洋料理や映画館の経営研究のため七日夜羽田からフランスへ飛んだ。外語出身で英語はペラペラやるのであちらに行っても会話には不自由のない人で、スケジュールも決めず自由にやく半年ぐらい欧州を歩いてくることになった。平ロータリークラブでは森川氏の旅行中の安全を祈って歓送会を開いた。

◇ハワイの日本人二世らが大部分のアロハクリスチャンタワー（観光団）の十九人は七日来平、諸橋市長らの歓迎を受けて、平窪の福島整し療護園を訪れた。お菓子で造ったレイ（首にかける花輪）を大河内園長らに贈り、し体の不自由な子らと楽しい交歓会を開いたり讃美歌をうたったりして一行は八日に仙台に向った。

健康家庭表彰式

平市の第六回国民健康保険の健康家庭表彰式は来る二十六日午後一時から公会堂で開き五年以上の保険料完納者二十一人、三年以上四十一人、一年以上四百十七人合計四百七十八人を招き記念品の手拭などを贈り、茶菓の接待、踊りのひ露などがある。五年以上には県国保団体連合会長賞が出る。受賞者左の通り。

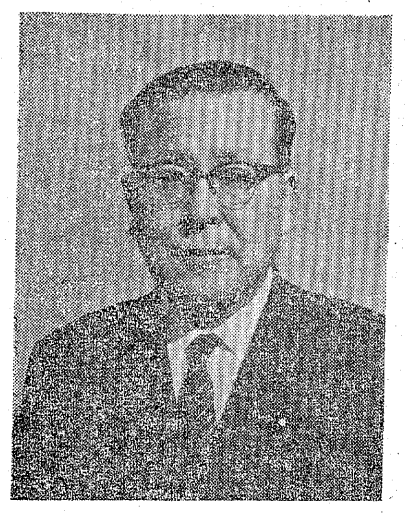
【五年以上】田町　沼崎マル子、二町目　鈴木ハツ、鎌田町　阿部義光、下河原、滝田常蔵、大工町　梅崎安正、仲町　高橋フミ、上平窪　松本清一、中平窪　五十嵐光雄、赤井　鈴木永一、岡田留吉、中神谷　佐藤武夫、下神谷　鵜沼正市、富岡留之助、北神谷、渡辺忠蔵、豊間　四家トク、佐々木稲次、薬磯　山崎要之助、沼ノ内　岩下作次、下大越　星野市左衛門、馬目茂、藤間　坂本忠

【三年以上】長橋町　田久千代吉、古鍛治町　馬場豊、田町　横田シナ、赤塚サツ、一丁目　西野タカ、三丁目　草野ハルヨ、平沢良平、南町　深見米吉、高月　草野英一、胡摩沢、佐々木千代吉、白川一森、旧城跡　岩間ミツエ、四軒町　安藤シゲ、鷹匠町　吉田ナツヨ、九品寺町　遠藤心光、禰宜町　佐藤庄五郎、立町　安斉キク、桜町　加藤慶、八幡小路　飯野元子、北目町　大谷友一、大町　小林リン、下平窪　佐川ヨツ、赤井　吉田松吉、宮内喜一、南白土　江尻茂、上荒川　猪狩武、中山　須藤武憲、鎌田鈴木保雄、下片寄　林義光、上片寄　西郡ヒデ子、下神谷坂本サダエ、下神谷、青木捨次、絹谷　松崎信夫、吉田亀治、下高久　志賀スサヨ、箱崎清、豊間　小松アキ、沼ノ内　鈴木国三郎、上大越　矢吹朝光、下大越　小林内蔵人

あたりバッタリ訪問記 ⑪

官僚臭のない秀才

よく世話をする斉藤邦吉氏



大竹作摩前知事らの推せんで労働事務次官をサッと投げ出し知事選挙に打って出で、佐藤現知事と一騎討をやったが敗れたので三十三年五月の総選挙に出馬して最高点で当選した相馬市出身の斉藤邦吉代議士を過般来平した際面会、その風ぼうに接することが出来た。でっぷり太って温厚なまなざしのなかにキラリとひらめく英智。この人は大きく伸びると云う予感を与える。

〃先生はスグ大臣になるでしょう〃などとお世辞を云う人も多く、またその貫録を充分備えた人だが斉藤代議士は謙譲の美徳が身についているので〃まだ一年生だ、そんな御期待はしないで下さい。一代議士として国のため地方開発のため全力をつくす積りです〃と答える。選挙区は浜三郡だから郷里の相馬だけでなく三郡の開発と発展、住みよい地方に築き上げることが代議士に課せられた任務であると確く信じ、それを実行している。相馬中学四年から一高、東大法科を出て司法、行政の二ツの高文をとり、厚生、労働省の役人となり、局長、次官と順調な足どりで出世街道を爆進してきた秀才である。官僚出身だがいつも低姿勢で官僚臭は少しもない。

兄の斉藤平吉氏も理学博士で戦前岩代熱海の熱海金山の所長をしていたことがあり、当時青化精煉所を新設して金の増産に貢献した兄弟揃っての秀才である。相馬開拓の大恩人二宮尊徳を崇拝している精神家でもある。

× × ×

役人時代から現在までの間、中央政財界の主なる人々との交友も深いので地方のためになる仕事をやるにはやりやすい環境に恵まれよく世話を焼き、石城では内郷市の労災病院の設置に苦労したことは周知の通りでこのほか石炭事業の斜陽産業化で失業する気の毒な人々を立上がらせるため離職者就労対策事業にやく二億円の政府投資を出させることにするなどその治績は大きい。浜三郡下で世話をした数々の仕事を書き止めて一覧表にしている。補助をもらったなどの世話をした事業を数字にして見ると平市十二、内郷市十八、常磐市九、磐城市八勿来市十八、四倉町四、小川町六、遠野町八、好間村八、三和村六、田人村三、川前村一となっている。これを見てもいかに凡帳面な人であるかが判る。いま問題になっている石炭鉱害復旧事業にも氏は真剣に取組んでいると云う。

趣味は園芸と囲碁、五十一才妻弘子さんとの間に男三人あり、東大、慶応などに在学している。相馬市中村宇多川町の親戚で酒造店の会津屋に居住している。

出前迅速の松本楼へ……
うなぎの松本楼
平市南町
電六六四四・六六四五

電灯照明工事
小野電気商会
平市四丁目　電四、三七九

ツノダの自転車特約販売
新生輪業商会
平市南町　電四、三七九

ガムの王様
キングトリス
浜通り代理店
菓子問屋
株式会社　石河屋
代表取締役　河又新一
平市南町　電3753・5059

家庭の水洗便所
西原式ネオ浄化槽
既設の人々から絶対の好評を受けております。ただし高価であったことが難点でしたが、今回従来の半額で出来る様になりましたので一般家庭からも歓迎されています。
工事と建材の店
株式会社　野内商会
平市四丁目電四一〇一・四一〇二

国産品の誇り
国際水準を行くキャプテンテックス
皆様のご満足のゆく洋服の御注文は
大平洋服店
平市堂の前　電三九七二
最新式しゆう用シンガーミシン新設
大平洋服店ネーム部

ネクタイ　ワイシャツ
化粧品　バンド
平駅前大通　電5721
ランドセル　鞄　靴
平市二丁目　電5722
帽子　学生帽
平市三丁目大通電5723
百合

火災に備えて
中央式消火器
福島県総代理店
援護化学研究所
平出張所
平市月見町六四　電五六九二

アメリカとび歩き（1）

平鉄工協理事長　関口義久

全国ネジの代表として私は三週間の予定で、業界の視察旅行の途に就いたが八月十二日出発前に旅行中の日本人としての心構えや、詳細の注意を受け八月十日に在日米国領事よりビザーを受け、出発二日後に控え出入国手続き一切が完了した。

羽田国際空港十時発私達の乗るDC8Cジェット機は初航空で、定員百四十三名、全重量百四十屯と云う巨大機、高度一万三千米、沈黙の成層圏を渡る時速千キロと云う音速機、私達はよく恵まれて夜来の雨はからりと晴れ公私各界の方々にお見送りを戴いて一路ハワイ・ホノルル国際空港を目指して飛び立ちました飛行機の中はすでに異郷の感で同乗者は日本人が少なく外人が多い。各自に送風されて来る新鮮な空気、読書用の豆電気、静かに流れ来るメロデー。之が地上一万米の上空とは感じられない。

快適なジェット機

ハワイで邦人から歓迎さる

スチワーデスが奇麗な声で案内をする。一時間も過ぎたところ昼食が配膳された。

食生活は人生の楽しみの一つで、どういう食べ物かは又格別の楽しみがある。オレンジジュースにパン、鳥肉のむし焼、生野菜、果実、コーヒ又は紅茶、水とバターにジャム、之が中食である。食器類は特一級品という所であろうあとで分った事だが我々日本人には日航機の食物が一番味も良ければ感じもよい。三時間から四時間おきに定食や軽食が支給されるので機上での空腹はない。

機内の温度は二十五度から二十七度に常に調節されている。気圧も常に自動的に調整され、最初耳にガクンと来るが余り苦しくはない。羽田出発後三時間で日付変更線を通過する記念のカードに住所氏名を書き入れる。このカードには日本の七福神が良く印刷されていて記念品として自宅に届けてくれる。実にサービスの時代を物語っている。

我々は各自機上で第一便の国への便りに余念がない。窓の外は濃青の確かに沈黙の海の感じである。

とやかくするうちに皆さんは最高記録である。

（平市議会事務局長）

目隠しつねり

偉　謡　石川映治

逢う夜は愉し
行く先々に　虫が啼く
坂をふんばり　後押す妻の
煎餅下駄も　過去かたり
階段おりるボリュームスター

顔より脚を　大写し
弾いて唄って　頑張り生きる
夜のネオンの　つづく路
ふと知り合ったアカシヤ並木
うつゝ彷徨う　廻り路

腰にバンドをしっかりつけて下さいのアナウンス、ノースモーキング、いよいよホノルル到着である。常夏のハワイに着いた。夜十時半羽田を出発して七時間半、途中で時差が五時間有り、時計を五時間進ませる。

ホノルル国際空港に降りるとまづ検疫を受けて手荷物の検査を受ける。持ち物に依ってはこ処の税関から税金を取らう。親娘お揃で出迎を受けてすばらしいレイを首にした。「レイは全部生花である。」飛行場の周辺にはあまり商店街はないので待合室の売店や食堂で三時間程過し又機上の人と成る。ハワイの食堂は静かな情緒に満ちた雰囲気である、ヤシの木、バナナの木、あわい光の下で流れ来る音楽に耳を傾けながらの食堂である。ハワイでは手洗所の事を男子をヂェントルマンといい女子をレデーという。日本で表現されているWCとかトイレット等の表現はどこにもない。これを見つけるのにとまどって皆で大笑をした。

我々の日程は帰りの予定にハワイに三日間滞在するのでこれを楽しみにして、また機上の人と成った。

いよいよあと五時間で米本土サンフランシスコ着である機上で毛布の上等なのを借り一寝入りすることにした。外は大空に星がきらめいているだけで何一つ見えない。

コイ四貫匁揚げる

大会で一位　松本茂雄氏

つり自慢

平市道匠小路松本茂雄氏はアユつりには手を出さないが、川、池、磯づりと何でもご座れのつり師である平市に勤めこの道では先づベテランの方、若い天狗連がよく指導をうけている。勤め人だから日曜つり師でよく出掛けよくつる人である最近の大つり記録は一昨年の秋茨城県ひ沼でハゼ二貫五百匁、昨年秋四倉町駒込め清風野溜池で行った鯉つり大会で四貫匁を揚げ一等になった以下松本氏の話。

昨年の九月六日駒込めの溜池で行ったコイつり大会に出場した。参加者三十人ばかりであった。この溜池は一町二、三反歩ぐらいある大きな池で自分はみんなと離れた場所で子供と二人で竿を二本おろした。

ボラづり竿の頑丈なもので、道糸もハリスも四厘、餌はヒビツを使った。ところが揚るワ揚るワ最高尺四寸、普通尺ものばかり三十余匹。目方にして四貫匁（十五キロ）大きな網袋に二つ。背負って帰るのに困って四倉から魚入れ箱をかりて、これに水と魚を入れて生してトラックで運んだのだった。家に持ち帰ったのはよいが始末に困ってハイヤーで二、三匹づつ知人の家に分配した。常磐毎日の記者がその日やって来て新聞記事に出たが、面白いつりだった

一昨年秋にも吉田君（農林水産課勤務）とひ沼に行ったとき、七、八寸の揃ったハゼを二貫五百匁揚げたのもハゼで

★★★